

一般社団法人 日本病院前救急救命学会

平成30年度

事業報告書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

平成30年度事業報告書

平成26年4月に発会した日本病院前救急救命学会は、5年目を迎え平成30年度の事業計画を推進してきた。

しかしながら、当初、年度下半期に予定していたワークショップを事前の準備不足から開催できなかったことを会員の皆様には深謝する次第である。まことに申し訳ございませんでした。

そのような中、ワークショップの代わりに、教育研修委員会が、新たな試みとしてフェイスブックに会員専用のページを2019年1月設置し、討論の場として活用する試みをはじめている。また、ZOOMというインターネット会議の場を本学会として契約したことで、今後の活発な検討課題のディスカッションの場として活用され成果を生むことを期待している。

さて、今年度の具体的な事業としては、平成30年6月1日（金）に、名古屋国際会議場で開催された第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会と同じ会場で、本学会の総会と小澤和弘（愛知医科大学災害医療研究センター）理事を会長とした第4回学術集会をジョイントセッションとして無事に開催できたことがあげられる。

この開催については、第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会の会長である愛知医科大学名誉教授の中川隆先生には開催に当たり、ご高配を賜り心から感謝する次第である。

また代表理事として、今後の法人運営の参考とするための「学術集会の単独開催検討等についてのアンケート実施」、会議経費削減を目的とした「ZOOMの契約及び運用要領の作成」、次期理事選挙の円滑な実施を目的とした「次期理事選挙要領の作成」を行った。

次に、5つの専門委員会（総務運営委員会・広報委員会・教育研修委員会・編集委員会・評議員審査委員会）に加え、委員会設置要領に基づき鈴木副理事長を委員長とした「国内外関係機関との交流連携委員会」を新たに立ち上げ、順次検討を行っているところである。また、脇田副理事長を委員長とする「将来構想検討委員会」から提出された「最終報告書」にある経時的目標を実現すべく、また外部機関からの理事派遣依頼等を審議するなど、法人運営の適正化を目的とした課題整理を行い法人として意思決定するために、定款に定める通常理事会を2回開催した。

これらが、本法人の平成30年度に実施した事業の概要であるが、法人化後の2年目においても、昨年度からの問題点は継続している。150人に及ぶ会員に対する十分な教育・研修の機会を提供することができていない現状や、評議員を引き受けてくださった方々へ、本法人の運営に関して十分な参加機会を提供できていないことである。

これらを解決するために、今後とも各種専門委員会で会員や評議員に対する教育・研修や本法人の運営に参加する機会を積極的に設ける必要があることを理事全員が認識しているところであり、今後の運営について会員諸氏のご理解とご協力を引き続きお願い申し上げる次第である。

結びに、平成 29 年 6 月 13 日に一般社団法人として登記を行って以来、監事を引き受けてくださった地方独立行政法人堺市立病院機構の副代表理事である横田順一郎先生と、なかじま法務事務所の司法書士である中島亮先生には、理事会開催の際には豊富な経験と専門的知識をもって、本法人の運営に関する貴重なご指導・ご助言を賜り重ねて感謝申し上げる次第である。

以上、平成 30 年度の業務概要であるが、本法人の定款第 50 条に基づき、代表理事として平成 30 年度の事業を下記のとおり理事会議事録を基に報告する。

記

1 日本病院前救急救命学会平成 30 年度定時評議員会（総会）・第 4 回学術集会の開催

本学会理事である愛知医科大学災害医療研究センターの小澤和弘を会長とした第 4 回学術集会及び平成 30 年度定時評議員会（総会）を第 2 2 回日本臨床救急医学会総会・学術集会のジョイントセッションとして次のとおり行った。

(1) 日時：平成 30 年 6 月 1 日（金）9 時 20 分～12 時 00 分

(2) 場所：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号）

(3) 内容

ア 第 1 部（平成 30 年度定時評議員会：社員総会）9 時 20 分～10 時 00 分

- ① 日本病院前救急救命学会代表理事挨拶（坂田武）
- ② 平成 29 年度事業報告、平成 29 年度決算報告（坂田武・張替喜世一）
- ③ 平成 30 年度事業計画、平成 30 年度予算案（坂田武・張替喜世一）
- ④ 平成 30 年度第 1 回通常理事会の結果報告（坂田武）

イ 第 2 部（第 4 回学術集会）10 時 00 分～12 時 00 分

- ① 会 長：小澤 和弘（愛知医科大学災害医療研究センター 講師）
- ② テーマ：「病院前救急救命のこれまでとこれから」
- ③ プログラム

10 時 00 分-10 時 15 分 開会式・会長講演（小澤和弘学術集会長）

10 時 15 分-11 時 25 分 ワークショップ

テーマ：救急救命士の研究について ～学会に参加するファーストステップ～

座長 一柳 保（高野町消防本部）

講師 喜熨斗智也（国士舘大学）

北村 浩一（石橋地区消防組合消防本部）

津波古 憲（国士舘大学防災・救急救助総合研究所）

原 貴大（国士舘大学大学院救急システム研究科）

11 時 25 分-11 時 55 分 一般演題（3 題）：全体 9 分 発表 6 分、質疑応答 3 分

座長：若松 淳（弘前医療福祉大学短期大学部）

林 康弘（根室北部消防事務組合）

11 時 55 分-12 時 00 分 次回学術集会会長挨拶（和歌山県消防学校 脇田 佳典）

12 時 00 分 閉会式（第 4 回学術集会実行委員会委員 委員長 張替 喜世一）

2 開催役員会

(1) 第1回通常理事会

ア 日 時：平成30年6月1日(金) 8時00分から9時00分まで

イ 場 所：名古屋国際会議場 6会場（2号館3階 会議室 234）

愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号

ウ 出席者

a 出席理事：理事総数11人中、11人出席

津波古 憲、中川 貴仁、喜熨斗 智也、山内 一、嶋本 政雄、小澤 和弘、
関根 和弘、鈴木 健介、脇田 佳典、張替 喜世一、坂田 武

b 出席監事：監事総数2人中、1人出席

横田 順一郎

c 議 長：坂田 武（代表理事）

エ 議案提出者

坂田 武（代表理事）

オ 審議・事項

a 第1号議案：平成29年度事業報告の件

定款に基づく代表理事の職務執行状況の報告を行った。また、既存委員会の各委員長から平成29年度の活動報告が行われた。

- ① 広報委員会（喜熨斗委員長）
- ② 総務運営委員会（嶋本委員長）
- ③ 教育研修委員会（脇田委員長）
- ④ 将来構想検討委員会（脇田委員長）
- ⑤ 第4回学術集会実行委員会（張替委員長）

c 第2号議案：平成29年度決算報告の件

本法人の「平成29年度決算報告書（正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、附属明細書）」に基づき、張替事務局長が説明を行った。また、「監査報告書」に基づき、横田監事から平成29年度の監査結果が報告された。

d 第3号議案：平成30年度予算（案）の件

本法人の「平成30年度事業計画」に基づき作成した平成30年度予算（案）について、張替事務局長が説明を行い、承認された。

e 第4号議案：日本臨床救急医学会MC委員会小委員会への委員派遣の件

本法人へ日本臨床救急医学会MC委員会より、小委員会への委員派遣依頼があったことを代表理事が説明し、この委員に本法人として張替喜世一副代表理事を派遣したい旨が提案され、承認された。

f 第5号議案：評議員選出委員会の委員新規承認の件

評議員選出委員会の委員長である中川理事から次のとおり、同委員会の委員が本法人の委員会設置要領に基づき選出され、定款第41条第3項に基づき、全会一致で承認された。

委員長 中川 貴仁（弘前医療福祉大学短期大学部）

副委員長 鴨川 富美夫（佐世保市消防局）

副委員長 *欠員

委員 北村 浩一 (石橋地区消防組合消防本部)

委員 後川 昌晃 (大野市消防本部)

g 第6号議案：編集委員会の委員新規承認の件

編集委員会の委員長である津波古理事から次のとおり、同委員会の委員が本法人の委員会設置要領に基づき選出され、定款第41条第3項に基づき、全会一致で承認された。

委員長 津波古 憲 (国士舘大学防災・救急救助総合研究所)

副委員長 山内 一 (新潟福祉医療大学)

副委員長 *欠員

委員 喜熨斗 智也 (国士舘大学)

委員 中川 貴仁 (弘前医療福祉大学短期大学部)

委員 若松 淳 (弘前医療福祉大学短期大学部)

委員 後川昌晃 (大野市消防本部)

h 第7号議案：広報委員会の委員追加承認の件

広報委員会の委員長である喜熨斗理事から次のとおり、同委員会の委員が本法人の委員会設置要領に基づき追加選出され、定款第41条第3項に基づき、全会一致で承認された。

委員長 喜熨斗 智也 (国士舘大学体育学部スポーツ医科学科)

追加委員 上杉 純平 (学校法人国士舘総務部総務課)

<参考：既承認委員>

副委員長 一柳 保 (高野町消防本部)

副委員長 津波古 憲 (国士舘大学防災・救急救助総合研究所)

i 第8号議案：その他

① 2020年度学術集会の開催方式決定の件

代表理事から2020年度に東京で開催が決定した日本臨床救急医学会総会・学術集会に合わせて、本学会の学術集会を従来どおりジョイントで開催させていただき、その学術集会の会長に、立候補意思を示している張替副代表理事とする提案がなされ、承認された。

なお、2021年度以降に単独開催を行う時期の議論を今後行うことが確認された。

② 委員会設置の件

鈴木副代表理事から2020年のオリンピック・パラリンピック開催を念頭に、国際的な関係団体との連携を深める必要があることから自身が担当して、その検討を行いたいとの提案が行われ、審議の結果、本法人として、鈴木副代表理事を委員長とした「国内外関係機関との交流連携委員会」を設置することが承認された。

③ 代表理事の退任について

坂田代表理事が、2019年度の社員総会をもって現職を退任することを表明した。

(2) 第2回通常理事会

ア 日時：2019年2月6日(水) 15時00分から17時00分まで

イ 場所：一般社団法人 日本病院前救急救命学会事務局
東京都中野区・株式会社へるす出版 2階会議室)

ウ 出席者

a 出席理事：理事総数11人中、10人出席

津波古 憲、中川 貴仁、喜熨斗 智也、山内 一、嶋本 政雄、関根 和弘、
鈴木 健介、脇田 佳典、張替 喜世一、坂田 武

b 出席監事：監事総数2人、2人出席

中島 亮、横田 順一郎

c 議長：坂田 武（代表理事）

エ 議案提出者

坂田 武（代表理事）

オ 審議・事項

a 第1号議案：代表理事の業務報告

坂田代表理事より、下記3項目の業務を行ったことが報告され、承認された。

① 学術集会の単独開催検討等についてのアンケート実施

理事からの意見を募ったところ、学術集会の単独開催の担当者については、今後設置
予定の将来検討委員会とする意見が5名、理事会とする意見が3名であった。また、現
在活動している将来構想検討委員会については、将来検討委員会の設置まで存続するべ
きとの意見が多かったことから、脇田委員長へ存続について要請された。今後の作業と
して、将来検討委員会の設置、委員委嘱を進めることを確認した。

② ZOOM運用要領の作成

③ 次期理事選挙の実施要領作成

b 第2号議案：平成30年度予算執行状況の報告

張替理事（事務局長兼任）より1月末現在の平成30年度予算執行状況が報告され、承
認された。

c 第3号議案：平成30年度ワークショップ開催可否の件

脇田理事（教育研修委員会委員長）より、ワークショップを開催するかどうかについて
検討してきたが、今年度内の開催は難しいと思われるとの説明があり承認された。

d 第4号議案：平成31年度（第5回）学術集会の準備状況報告

脇田会長より、次の通り報告され、承認された。

① 会期について、第22回日本臨床救急医学会学術集会の併催として2019年5月31日
（金）とし、和歌山県自治会館を会場として、終日無償で借りられる予定である。

② 10時より通常理事会、引き続いて評議員会・総会を開催する。理事改選を予定して
おり、11時30分頃に新理事会の開催も見込む。13時より学術集会を開催する。

③ 実行委員会を立ち上げ、実行委員長は安留秀起氏（和歌山市消防局）である。

④ 基調講演は、野々木宏先生（静岡県立総合病院循環器内科）に依頼している。また
教育研修委員会によるワークショップを開催する。ワークショップは評議員の竹田豊
氏（出雲市消防本部）がリーダーとなって準備を進めている。その後、一般演題を1
時間程度行う。一般演題は西岡和男氏（熊本市消防局）がリーダーとなって準備を進
めている。一般演題の募集期間は明日2月7日～3月7日とし、さらに10日間程度延
長も見込んでいる。

- ⑤ 一般演題の査読について、教育研修委員会が担当する。
- ⑥ 実行委員会委員について、事務局より、会長名で委嘱期間を学術集会当日までとした委嘱状を発行することを確認した。
- e 第5号議案：ZOOM運用要領の件
ZOOM運用要領について、作成者の坂田代表理事から説明があり承認された。
- f 第6号議案：第55回日本交通科学学会総会・学術講演会への協賛の件
標記学術講演会への協賛について、益子邦洋会長より依頼を受けたことが説明され、協賛することが承認された。
- g 第7号議案：次期理事選挙の実施要領の件
次期理事選挙実施要領について、作成者の坂田代表理事から説明があり承認された。
- h 第8号議案：選挙管理委員会委員の承認の件
定款施行細則第6条条項に基づき、選挙管理委員会の設置と委員案が坂田代表理事から提示され承認された。選挙管理委員会を置くことが決定され、下記委員の委嘱が承認された。
- 選挙管理委員会（2019年度理事改選）
委員長 坂田 武（北九州市消防局）
委員 後藤正和（熊本総合医療リハビリテーション学院）
委員 日高武英（公立邑智病院）
- i 第9号議案：各委員会の設置及び委員長・委員を2019年度以降も継続する件
現在設置されている各種委員会の活動を継続させたい意向が坂田代表理事から提示され承認された。理事会の承認があるまで、各種委員会は解散しないことが決定された。
なお、学会の定款第41条条項により、理事が委員長を務めることが定められている点と委員任期について、中島監事により委員会条項に関する定款改定案を作成して頂き、現在運用している委員会設置要領についても、定款改定に合わせて変更していくことが確認された。
- j 第10号議案：国内外関係機関との交流連携委員会 委員委嘱について
前回の理事会において設置承認された標記委員会について、鈴木健介委員長より、下記の通り、本人の立候補あるいは委員就任の内諾を得られている委員案が提示され承認された。
- 委員長 鈴木健介（日本体育大学保健医療学部）
副委員長 原 貴大（国士舘大学大学院救急システム研究科）
委員 大橋教良（帝京平成大学健康医療スポーツ学部）
委員 中島秀明（湘央生命科学技術専門学校 救急救命学科）
委員 若松 淳（弘前医療福祉大学短期大学部 救急救命学科）
委員 長橋和希（東京曳舟病院）
- k 第11号議案：旅費規程及び講師謝礼規程について（総務運営委員会）
- ① 総務運営委員会の嶋本委員長から提示された旅費規程（案）について確認され、承認され、本日より運用することとした。
- ② 同嶋本委員長から提示された講師謝礼規程（案）について確認され、次の通り修正し、承認された。
- ・第1条について、会員の種別への言及がないが、「本学会正会員以外」と規定する。
 - ・第3条の支払基準表について、大学の欄を「教授級」⇒「教授・準教授級」に修正することとなった。

- ・第3条の後に第4条として「特別な場合の取扱いで、本規定により処理できないときは、その都度、理事会で協議して決定する」との条文を置き、原案の第4条（改正）を第5条に繰り下げることとした。

- l 第12号議案：将来構想検討委員会報告書に基づく委員会の設置について
標記報告書で提案されていた、早い時期に設置が推奨された将来検討委員会（仮称）及び倫理委員会の設置について、次回理事会ならびに評議員会において、委員会の委員長に関する定款条項の改定を予定しているため、定款改定後に改めて、両委員会の設置や活動について協議することとして、了承された。
- m 第13号議案：関係団体からの委員派遣依頼について
学校法人 日本教育財団より「東京医療専門職大学（仮称）ならびに名古屋医療専門職大学（仮称）設立に伴う『教育課程連携協議会』構成員」に就任して頂きたいとの依頼文書を拝受したことが坂田代表理事から報告された。
審議の結果、本理事会の意向として、まず先方に協賛会員として入会して頂くことを打診し、それが先方に受け入れられた場合、山内理事が所属の許可を得られた場合に、理事会として委員に派遣する方針として、承認された。
- n 第14号議案：各委員会 業務報告
既存委員会の各委員長から前回の理事会以降の活動報告が行われた。
 - ① 総務運営委員会（嶋本政雄委員長）
 - ② 広報委員会（喜熨斗智也委員長）
 - ③ 教育研修委員会（脇田佳典委員長）
 - ④ 編集委員会（津波古憲委員長）
 - ⑤ 評議員選出委員会（中川貴仁委員長）
 - ⑥ 国内外関係機関との交流連携委員会（鈴木健介委員長）
- o 第15号議案：その他
 - ① 一般社団法人 JPTEC協議会
本学会推薦理事として参加している坂田理事より、JPTEC協議会理事会の2018年度の活動および検討内容が報告された。
 - ② 一般社団法人 日本臨床救急医学会メディカルコントロール検討委員会
本学会推薦の委員として参加している脇田理事より活動内容が報告された。
 - ③ 一般社団法人 病院前救護統括体制認定機構
本学会推薦理事として参加している鈴木理事より活動内容が報告された。

以上

平成31年4月1日作成

一般社団法人 日本病院前救急救命学会

代表理事

坂田 武

